

令和2年度 第42回 群馬県中学校新人バドミントン大会要項 (最新版)

1. 主催 群馬県中学校体育連盟 群馬県教育委員会 群馬県中学校長会 太田市教育委員会 桐生市教育委員会
2. 後援 群馬県市町村教育委員会連絡協議会 (公財)群馬県スポーツ協会 群馬県バドミントン協会
上毛新聞社 群馬テレビ FM GUNMA 桐生タイムス
3. 会期 令和2年10月17日(土)・24日(土)
17日(土) 8:00 集合・受付【地区ごとに時間差をつけて行う】
8:45 監督会議【選手変更のみ フロアで行う】
9:00 競技開始 (団体戦)
全試合終了後 団体戦表彰式
24日(土) 9:00 競技開始 (個人戦 S・D)
全試合終了後 個人戦表彰式
4. 会場 【10月17日(土)】
太田市新田総合体育館エアリスアリーナ (所在地 太田市新田金井町 607 TEL 0276-57-2222)
【10月24日(土)】
桐生市民体育館 (所在地 桐生市相生町3丁目 300 TEL 0277-52-2362)
5. 参加資格 (1)群馬県中学校体育連盟に加盟した学校に在学し、当該校校長の参加許可を得た生徒であること。
(2)各郡市中体連の予選を通過した生徒、もしくは当該競技部で推薦された生徒であること。
(3)参加資格の特例：学校教育法134条の各種学校(1条校以外)に在籍し、群馬県中学校体育連盟が参加を認め、所在する郡市中体連の予選大会を経て、参加資格を得た生徒であること。
(4)同一年度で、いずれかの郡市地区予選に出場した選手は、他校に転校して本大会に出場することはできない。ただし、本大会の出場権を得た個人種目についてはその限りではない。
6. 監督引率 (1)参加生徒の監督・引率は、出場校の校長・教員・部活動指導員とする。
(2)監督の条件等は、県中体連「運動部活動顧問等の指導中における暴力・体罰・セクハラ等に対する対応」による。
7. 参加制限 (1)種目 男女別学校対抗団体戦・男女別個人戦 (S・D)
(2)出場校及び団体編成
団体戦 = 10校以上の地区は4校の参加、7～9校の地区は3校の参加、4～6校の地区は2校の参加、3校以下の地区は1校の参加とする。
2複1単、5名以上7名以内で1チームを編成し、単復は兼ねられない。
個人戦 = 各地区の団体戦出場校数に応じて出場枠を決定する。
10校以上は8名(8組)・9校は7名(7組)・8校は6名(6組)・7校は5名(5組)・6～5校は4名(4組)・4～3校は3名(3組)・2～1校は2名(2組)・0校は1名(1組)の参加とする。
複は同一校で編成し、同一選手が単復は兼ねられない。
8. 競技規則及び競技方法 (1)マネージャーは、出場校の教員・生徒とする。
(2)外部コーチ(外部指導者)は、当該校校長が認めた者(成人)とし、任務は別に定める。
(3)現行の日本バドミントン協会競技規則並びに大会運営規定に準じて行う。また、監督会議で確認された事項を遵守すること。
(4)団体戦・個人戦ともトーナメント方式とし、すべて15点3ゲームの簡易ゲームで行う。
(5)使用球 令和2年度日本バドミントン協会検定合格の2種水鳥球(ヨネックス・マックス700)を使用する。
9. 参加申込 (1)申込責任者 当該出場中学校長とする。
(2)申込書 ・出場校はExcel書式の参加申込データを作成する。書式は県中体連バドミントン部から配布されたもの、または県中体連HPよりダウンロードしたものとする。
(3)申込先 〒373-0813 太田市内ヶ島町1361-4 ぐんま国際アカデミー(中高等部) 吉田 慎吾
TEL 0276-47-7711 FAX 0276-47-7715 E-mail shingo@gka.ed.jp
・出場校は参加申込データを作成し、郡市でとりまとめる。郡市委員長は申込データの集約、及び郡市別出場者名簿データを作成し、上記宛てに申し込む。
(4)申込期日 ・令和2年9月25日(金)必着のこと。
10. 参加費 登録選手一人につき3,000円の参加費をプログラム編成会議時に納入する。
*プログラム編成会議 令和2年10月2日(金)午後2時30分より(出席者 競技部運営委員・郡市代表)
伊勢崎市民体育館会議室(所在地 伊勢崎市堤西町93華蔵時公園内 TEL 0270-23-7015)
・プログラム編成会議には、郡市代表が必ず職印を押した申込書、及び参加選手の参加費をとりまとめた上で持参する。本会議では各郡市の代表運営委員にて組み合わせを行う。
11. 表彰 団体戦・個人戦とも第3位まで賞状を授与する。
12. 審判員 各指定校審判員及び大会補助員 なお、審判は原則として敗者審判制とする。
13. その他 (1)競技時の服装は県大会参加確認事項を参照する。防汗や整髪のためのハチマキ(白)は可とする。なお、ソックスは白色を基調としたものとする。
(2)着衣背面に下記の範囲内に校名と姓を示すマークを(見やすい日本文字)で必ず明記する。

--

(3)フロアでの応援はしない。観客席での応援についても品位を保ち、マナーを守ること。
(4)外部指導者の資格、及び対応
外部指導者とは、校長が人格・指導面において認めた成人、又は県・市町村派遣事業で認められた者であり、学校の教育方針に基づき顧問教員の指導計画に従い、顧問教員と協力し、日頃から指導に当たることができる。
①成人を原則とする。(社会人・大学生)
②他の学校の校長・教員(含む・臨時職員)・職員は外部コーチとしての資格はない。
③他のチームに、外部コーチとして登録している者はベンチ入りできない。
④外部コーチの旅費、安全対策等については、当該校の責任において行う。
(5)本大会は関東オープン中学生大会、及び全日本中学生バドミントン選手権大会の選手選考の参考資料とする。
(6)新型コロナウイルス感染症対応として、以下のことを行う。
・選手、役員、補助員のみ会場入場を制限する。受付は地区ごとに時間差を設けて行う。
・開閉会式は行わず、監督者会議も必要最低限とし、フロア(本部前)で行う。
・選手は学校ごとの入場とし、当日の体温と健康状態を記録した名簿を提出する。
・会場内では全員マスク着用することとする。(選手の試合中を除く)
・試合前、試合後の握手は行わず、バックバウンダリーラインでの礼のみとする。
・換気を定期的に行う。(1時間に1回 5分間)